



かんこうたいけん 観光大県づくり

資料2

観光を軸とした地域経営の体制を整備することにより、県内観光業の「稼ぐ力」を高めて雇用や移住に結びつけ、世界と競争できる「観光大県づくり」を進めます。

(1) 観光行政の転換

●観光を推進する組織の「稼ぐ力」を高め、ブランド戦略を再構築し、効果的なプロモーションを展開します

地域全体の「稼ぐ力」を高める

県DMOを設立し、地域DMOの設立支援を行うことで、マーケティングの手法を取り入れ、地域全体の「稼ぐ力」を高める旅行商品造成などの事業を展開

- ◆(新)信州・長野県観光協会を県DMOへ移行させるため専門人材を採用 (2399万9千円)
- ◆(新)地域DMO構築のため、マーケティング、人材育成等を支援 (509万円)
- ◆有識者と庁内全部局長で構成する「長野県観光戦略推進本部(仮称)」を設置し、「観光インフラ整備」、「人材育成」等のタスクフォースにより具体的に施策を推進

信州ブランドの再構築・発信

長野県の強みを活かした信州ブランドの戦略的な発信・展開

- ◆(新)統括ディレクターを起用し、著名人の活用、動画制作などにより、Webを中心にした発信を展開 (5369万5千円)

プロモーション手法の抜本的見直し

紙媒体、イベント中心のプロモーションからインターネット広告やSNS等のWebプロモーションに転換

- ◆長野県の持つ強みに興味・関心が高い層にターゲットを絞ってインターネット広告を展開 (1800万円)
- ◆(新)パワーブロガー等SNSの活用により海外向けの情報発信を強化 (1900万円)

(2) 世界水準の山岳高原観光地づくりの推進

- 長野県の強みである山岳高原やアウトドアを安全・安心に楽しめる環境づくりを進めます
- 県内各地の周遊を促進するため、移動しやすい環境づくりを進めます

安全・安心に楽しめる環境づくり

長野県登山安全条例に基づく安全対策の実施や、長野県アウトドア推進協議会と連携した受入体制の整備等

- ◆(新)登山道の整備、登山口への看板設置、登山計画書を提出しやすい環境整備等、総合的な登山安全対策の実施 (1億1293万1千円)
- ◆協議会が行う情報発信や、リスクマネジメント体制が整っているアウトドア事業者の認証を支援することにより、利用者が安全・安心に楽しめる環境を整備 (438万2千円)
- ◆重点3地域への総合的な支援 (150万円)

移動しやすい環境づくり

鉄道と路線バスを組み合わせた総合的な移動情報の提供と観光地間をつなぐ周遊バス・貸切バスの運行支援

- ◆(新)公式観光サイト「さわやか信州旅.net」に観光・交通情報案内機能を新たに追加、移動情報を多言語で提供 (5832万1千円)
- ◆(新)主要駅を起点とした周遊バスや県外からの貸切バスの運行を支援 (7700万円)

観光地域づくりを担うリーダーの育成強化

おもてなし向上などリーダー人材の活動を「見える化」し、活躍機会の拡大により人材育成を加速化

- ◆新たに「観光地域づくりマイスター」を認定し、「信州おもてなしマイスター」とあわせて活動状況をホームページ等で発信するとともに、地域の研修会や教育現場へ講師として派遣 (859万9千円)

(3) チャンスを活かした誘客強化

- 大規模イベント等を最大限に活用し、その効果を県内全域に波及させます

大規模イベントを活用した県内周遊と滞在の拡大

「真田丸」、国民の祝日「山の日」全国大会、全国植樹祭等の好機を活かすとともに、来年開催の信州デスティネーションキャンペーンや東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えた誘客活動の強化

- ◆(拡)「真田丸」等を契機に観光資源の発信を行い、交通事業者等と連携して県内周遊を促進するとともに、信州デスティネーションキャンペーンに向けた旅行商品の造成と、県産食材を使用した食の魅力向上等受入体制の整備 (1億866万9千円)
- ◆(新)スポーツコミッションの設立による東京オリンピック等の事前合宿の誘致 (701万7千円)
- ◆(拡)銀座NAGANOを活用し、イベントをきっかけとして、本県への誘客につながる取組を強化 (1億7156万2千円)

(4) 外国人旅行者倍増に向けたインバウンドの強化

- 世界の人々から選ばれ、選ばれ続ける「NAGANO」を目指します

長野県の強みを活かし市場の特性に応じたインバウンド誘客を展開

個人旅行化・リピーター化が進むインバウンド客を確実に取り込むため、本県の強みである「山、アウトドア、健康長寿」を軸として海外プロモーションを展開

- ◆(新)「山、アウトドア、健康長寿」、新ゴールデンルート、平昌・北京オリンピック等を活用した滞在型ツアー商品や県内の消費拡大に繋がるツアー商品の造成支援と誘客強化を行うとともに、主要空港から県内へのバス等の利用によるアクセス拡大を支援 (4380万円)
- ◆(新)パワーブロガー等SNSの活用により海外向けの情報発信を強化 (再掲)
- ◆観光事業者と一体となった海外プロモーションの強化 (3771万5千円)

(1) 観光行政の転換

<目指すもの>

- 観光を推進する組織の「稼ぐ力」を高め、ブランド戦略を再構築し、効果的なプロモーションを展開します

そのために…

- 県DMOを設立し、各地域のDMOの構築支援
- 「しあわせ信州」を長野県の強みを活かし、戦略的に展開
- 紙媒体中心からインターネット活用によるプロモーションへの転換

地域全体の「稼ぐ力」を高める

<これまでの取組>

- 行政や観光協会が主体となり、大都市圏などにおいて観光PRやプロモーションなどの誘客活動を中心とした観光施策を推進

今後の方向性

- ・ 県DMOを設立し、地域DMOの設立支援を行うことで、マーケティングの手法を取り入れ、地域全体の「稼ぐ力」を高める旅行商品造成などの事業を展開
DMOリーダー養成者数:10人(H28)
- ・ 県の観光施策を推進するための組織を設置し、県の総合力で観光振興を展開

<平成28年度の取組>

- ◆ 信州・長野県観光協会を県DMOに移行させるため、マーケティング及びインバウンドの専門人材を採用し、科学的なマーケティング等の実施を支援
- ◆ 地域DMO構築を推進するため、有識者の派遣、マーケティング支援、DMOリーダー養成塾により人材を育成
【観光部】(新)DMO構築事業(一部)
- ◆ 有識者と庁内全部局長で構成する「長野県観光戦略推進本部(仮称)」を設置し、「観光インフラ整備」、「人材育成」等のタスクフォースにより具体的に施策を展開

信州ブランドの再構築・発信

<これまでの取組>

- 信州ブランド戦略を策定(平成26年3月)
- ロゴマーク使用承認件数:279件(平成27年12月末現在)

今後の方向性

長野県の強みを活かした信州ブランドの戦略的な発信・展開

<平成28年度の取組>

- ◆ 「しあわせ信州」を信州ブランドとして県内、国内外に浸透させていくため、統括ディレクターを起用して、そのイメージを具体的に再構築し、著名人の活用や動画制作などの方法によりWeb発信を中心に展開
【観光部】(新)信州ブランド再構築・発信事業、2016信州発信事業(一部)

プロモーション手法の抜本的見直し

<これまでの取組>

- パンフレット、ポスター、メディア媒体などを組み合わせた情報発信、誘客促進

ガイドブック「季刊信州」の制作(A4 24P 15万部)、ポスターの制作、JR線・名古屋鉄道等の車内ポスター、インターネット宿泊予約サイトを活用した情報発信(H26年度実績)

今後の方向性

紙媒体、イベント中心のプロモーションから、インターネット広告やSNS等のWebプロモーションに転換

<平成28年度の取組>

【国内プロモーション】

- ◆ Webプロモーションにより、年齢・性別・興味・関心などの要素を組み合わせて、ターゲットを絞ったプッシュ型の情報発信を実施
- ◆ Webプロモーションの効果測定を随時実施し、その結果を基に効果的なプロモーションを機動的に展開

- ◆ 長野県の強み・魅力を伝えるための情報発信ページを作成し、インターネット広告等を活用することにより、ページへの誘導を促し、効率的な情報発信を実施

【観光部】しあわせ信州観光キャンペーン事業(一部)

【海外プロモーション】

- ◆ パワーブロガーの招聘、県内在住外国人ブロガー、インフルエンサー(影響力のある著名人)による発信をFacebook、微信(WeChat)等新たなメディアを活用して実施
- ◆ Facebook、微信等のビッグデータを活用し、テーマ別・市場別にターゲットを絞った情報拡散を展開

【観光部】(新)外国人旅行者倍増にむけた誘致強化事業(一部)

(2) 世界水準の山岳高原観光地づくりの推進

<目指すもの>

- 長野県の強みである山岳高原やアウトドアを安全・安心に楽しめる環境づくりを進めます
- 県内各地の周遊を促進するため、移動しやすい環境づくりを進めます

そのために…

- 登山の安全対策やアウトドア事業者団体と連携した受入体制の整備
- 総合的な移動情報の提供と周遊バス・貸切バスの運行支援
- 観光地域づくりやおもてなしを担うリーダーの育成

世界水準の山岳高原観光地づくり

<これまでの取組>

- 「信州 山の日」制定(H26.7) ○ 長野県登山安全条例を制定(H27.12)
- 「信州 山のグレーディング」を公表(H26.6)し、新潟、山梨、静岡の4県に拡大(H27. 5)
- 世界水準の山岳高原観光地づくりの重点支援3地域において、ビジョンを策定(H27)
- 県内事業者のネットワーク組織である「(一社)長野県アウトドア推進協議会」を設立(H27.11)
- アウトドア観光の発信力を強化するため情報発信Webサイトを構築(H28.4 公開予定)

今後の方向性

長野県登山安全条例に基づく安全対策の実施や、長野県アウトドア推進協議会と連携した受入体制の整備等

<平成28年度の取組>

- ◆登山の総合的な安全対策推進のため、登山口への看板設置や登山計画書を提出しやすい環境整備、Web等によるPR活動を実施 【観光部】(新)安全登山普及推進事業
- ◆「山岳の環境保全と適正利用に係る方針」による山域の将来像に応じた登山道等の整備を支援 【環境部】山岳環境整備推進事業・民間との協働による山岳環境保全事業
- ◆長野県アウトドア推進協議会が実施する情報発信、リスクマネジメント体制が整っている事業者の認証等の事業を支援 【観光部】アウトドア・アクティビティ推進事業
- ◆有識者派遣、観光部内支援チームにより重点支援3地域を総合的に支援 【観光部】世界水準の山岳高原観光地づくり重点支援事業
- ◆ライチョウサミット長野大会を開催 【環境部】人と生きもののパートナーシップ推進事業

移動しやすい環境づくり

<これまでの取組>

- 北陸新幹線開業(金沢延伸)を契機として、佐久・上小・長野の各観光地域戦略会議及び信越9市町村広域観光連携会議により利用者数の増加目標を設定
- 国の地域消費喚起型交付金事業を活用した貸切ツアーバスへの助成を実施(H27年度 ツアー実施本数 1,285本[H27.6~12])[今後の催行意向:84.5%(一部変更含む)]

今後の方向性

鉄道と路線バスを組み合わせた総合的な移動情報の提供と観光地間をつなぐ周遊バス・貸切バスの運行支援

<平成28年度の取組>

- ◆公式観光サイト「さわやか信州旅.net」に観光・交通情報案内機能を新たに加え、移動情報を多言語で提供 【観光部】(新)DMO構築事業(一部)
- ◆県内主要鉄道駅を起点とした観光地間を結ぶ周遊バスと、県外からの貸切ツアーバスの運行を支援 【観光部】(新)テーマ別ツアーリズム振興及び観光バス運行支援事業(一部)
- ◆観光地の歩道やサイクリングロードをグレードアップ(10箇所) 【建設部】歩こう! 走ろう! 観光地の歩道グレードアッププラン
- ◆良好な景観と安全で快適な歩行者通行空間の確保のため、無電柱化を推進 【建設部】電柱のない安全で快適なまちづくり事業

観光地域づくりを担うリーダーの育成強化

<これまでの取組>

- 「信州・観光地域づくりマネジメント塾」の開催(H24~25年度修了24名、H26~27年度修了予定23名)
- 「信州おもてなし未来塾」の開催(H26年度修了38名、H27年度修了予定37名)
- H26年度修了生のうち12名をおもてなし向上のリーダー「信州おもてなしマイスター」として認定

今後の方向性

おもてなし向上などリーダー人材の活動を「見える化」し、活躍機会の拡大による人材育成の加速化

<平成28年度の取組>

- ◆「信州・観光地域づくりマネジメント塾」の修了生の中から新たに「観光地域づくりマイスター」を認定
- ◆「観光地域づくりマイスター」、「信州おもてなしマイスター」の活動状況をHPやSNS等で発信するとともに、地域の研修会や教育現場等へ講師として派遣
- ◆信州の案内役として重要な役割を担うタクシー業界のおもてなし向上に向けた集中的な取組を実施 【観光部】観光おもてなし推進事業・観光地域づくり促進事業

(3) チャンスを活かした誘客強化

<目指すもの>

- 全国からの誘客・周遊・宿泊の促進により観光消費額を増加させます

そのために・・・

- 大規模イベント等を最大限活用した、全国からの誘客の促進と滞在の拡大
- 銀座NAGANOでの情報発信強化による交流と県内への誘客促進

大規模イベントを活用した県内周遊と滞在の拡大

<これまでの取組>

- 北陸新幹線金沢延伸開業、善光寺御開帳を活かした、県内他地域への誘客・周遊促進
- 銀座NAGANO来場者数 100万人突破(累計)、販売額 1億8千万円(H27.4～12)

今後の方向性

「真田丸」等、全国的に注目が集まる大規模なイベントを活かした情報発信と、その誘客効果を全県に波及させるような周遊事業、宿泊促進事業の実施により、リピーターを創出し、観光消費額の継続的な増加を図る。
【観光消費額H26実績: 2,974億円⇒H28目標: 3,104億円】

<平成28年度の取組>

- ◆NHK大河ドラマ「真田丸」、国民の祝日「山の日」記念全国大会や全国植樹祭等を契機とした全国への観光情報の発信のほか、交通事業者と連携した全県周遊事業や宿泊促進事業を実施

【観光部】しあわせ信州観光キャンペーン事業(一部)・2016信州発信事業(一部)

【林務部】国民の祝日「山の日」記念全国大会推進事業・「信州山の日」推進事業・全国植樹祭推進事業

- ◆平成29年度実施の「信州デスティネーションキャンペーン」に向け、全国宣伝販売会議の開催による旅行商品の造成や県産食材を使用した料理の提供などによる受入体制整備の促進

【観光部】(新)信州デスティネーションキャンペーン事業

- ◆スポーツコミッションを設立し、ラグビーW杯、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致活動を積極的に展開

【観光部】(新)スポーツコミッション設立・運営事業

- ◆「アウトドア」「ワイン・酒」「ロケ地」等のテーマ別ツーリズムの普及を図るため、モデルプランの造成等を実施

【観光部】(新)テーマ別ツーリズム振興及び観光バス運行支援事業(一部)・フィルムコミッションネットワーク推進事業

- ◆銀座NAGANOでの“学び”を現地の体験へと広げ、地域の課題をともに考える交流イベントや地域への誘客イベントを重点的に実施

【観光部】信州首都圏総合活動拠点運営事業

(4) 外国人旅行者倍増に向けたインバウンドの強化

<目指すもの>

- 世界の人々から選ばれ、選ばれ続ける「NAGANO」を目指します

そのために・・・

- 長野県の強みを活かし市場の特性に応じたインバウンド誘客を展開
- SNS等新たなメディアを活用したNAGANOの浸透
- 県内観光事業者と一体となった海外プロモーションの展開

長野県の強みを活かし市場の特性に応じたインバウンド誘客を展開

<これまでの取組>

- 「一度は行ってみたい」と思わせるキラーコンテンツ(スノーモンキー、松本城など)を中心としたプロモーションを展開
- タイ等東南アジア4カ国にエリアを絞込んだ誘客促進の結果、この地域では全国を27ポイント上回る53.3%増(H27.1～9月対前年比)

今後の方向性

インバウンド市場のトレンド変化(個人旅行化の進展、周遊型観光から滞在型・体験型観光への移行、訪日リピーター層の増加)を見据え、キラーコンテンツの発信に加え、「山、アウトドア、健康長寿」を軸にNAGANOの浸透を図る。
【外国人延宿泊者数H26実績: 66万人⇒H28目標: 120万人】

<平成28年度の取組>

- ◆NAGANOの認知度の向上のため、「山・アウトドア・健康長寿」をテーマとした旅行会社・メディアの招聘、インターネットによる発信などPRの強化
- ◆長野の強みをテーマにした滞在型ツアー商品造成のため、宿泊数に応じた補助や旅行会社招聘の実施
- ◆主要空港から県内へのバス等の利用によるアクセス拡大の支援
- ◆新ゴールデンルートへの誘客強化のため石川県、富山県等との合同プロモーションの実施
- ◆平昌、北京冬季五輪を活用し、スキー等の人気が高まる韓国、中国を対象にパンフレット等の作成、現地セミナー等の開催
- ◆パワーブロガーの招聘、県内在住外国人ブロガー、インフルエンサー(影響力のある著名人)による発信をFacebook、微信(WeChat)等新たなメディアを活用して実施(再掲)
- ◆知名度の浸透と商品造成が同時並行的に進むよう県内観光事業者と一体となった海外プロモーションを強化

(新)外国人旅行者倍増に向けた誘致強化事業(一部)・戦略的な外国人旅行者の誘致推進事業